



日時：2024 年 10 月 24 日（木）19:00～20:30

会場：

出席理事：赤木 禎治、稲井 慶、今井 靖、岩田 祐輔、上村 秀樹、榎本 淳子、落合 亮太、小野 博、笠原 真悟、桂木 真司、坂本 一郎、塩瀬 明、庄田 守男、先崎 秀明、立野 滋、辻田 賢一、照井 克生、中埜 信太郎、長坂 安子、籾 義仁、檜垣 高史、兵藤 博信、平松 健司、水野 芳子、三谷 義英、八尾 厚史、安田 聡、山岸 敬幸、山村 健一郎、吉松 淳（30 名）

欠席理事：石津 智子、大内 秀雄、坂田 泰史、齋木 佳克、新川 武史、瀬尾 由広、平田 康隆、宮崎 文、（8 名）

監事：松尾 浩三、森 善樹

顧問：市田 露子、丹羽 公一郎、松田 暉

1. 開会

理事の過半数である 38 名中 30 名の出席をもって本会は成立していることが宣された。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

前回議事録内容について赤木理事長より説明があり承認された。

報告事項 2：ACHD 手術手技研究会について（塩瀬理事）

塩瀬理事より口頭で第 2 回 ACHD 手術手技研究会の内容、演者について報告がなされた。

報告事項 3：各委員会委員長より報告（各委員長）

・将来構想委員会（赤木理事、稲井理事）【資料 1】

稲井理事より将来構想委員会議事録に基づき、2026 年度からの理事、評議員改選方法について説明がなされた。将来構想委員会では、現行理事 38 名（会員約 3%）・評議員 80 名（会員約 6%）について、会員比でやや理事・評議員数が多いのではないかと、全体および領域別の人数規定を定めた方がよいのではないかと意見があった旨、説明がなされた。また、赤木理事長から、現行では理事は辞退がなければ再任・継続となるが、他の学会の方法も参考にしながら見直しの余地がある旨、説明がなされた。

これに対し庄田理事より、日本不整脈心電学会や日本循環器学会には定員規定、および地域別の定員規定などもあること、学会設立当初は ACHD 分野に関わる人材が限られていたことから定年は設けなかったが、近年では専門医も増加しており、若手にチャンスを与える意味でも定年制度および領域別の定員規定を設けることが提案された。岩田理事からも定員規定作成の提案がなされた一方、分野の発展などがあるため領域別の定員は柔軟に設定することが提案された。先崎理

事からは ACHD 領域の特殊性から、理事・評議員の定員は現状維持とすることが提案された。加えて、将来的には選挙による理事選出が必要だが、導入時期については検討が必要である旨、発言があった。吉松理事より、全体の定員規定策定、各分野への定員配分に賛同する旨、発言があった。長坂理事より、理事総数は他学会に比べて多いが、大きな変更の要否については議論の余地がある旨、発言があった。落合理事より、多領域専門職の会員数を考慮すると、多領域専門職の理事の人数は現状維持が適切ではないかとの発言があった。

上記を受け、稲井理事より選挙の必要性については将来構想委員会で再度検討する旨、説明がなされた。また、地域枠や男女比について検討する必要性について提案がなされた。赤木理事長より、継続審議していく方針が示された。

・学術委員会（稲井理事）

研究部会（石津理事）

報告事項なし。

教育部会（山村理事）

ACHD セミナーに 162 名の参加があった旨、説明がなされた。

YIA 選考部会（八尾理事）

八尾理事より、以下の審査結果が報告された。学術集会にて表彰予定。

2024 年 YIA 審査結果 最優秀賞 東京女子医科大学病院 看護部 秋山 直美

学術集会企画部会（檜垣理事）

報告事項なし。

・学会編集委員会（坂本理事） 学会誌発刊について

報告事項なし。

・専門医制度委員会（石津理事）

試験問題作成部会（宮崎理事）今後の作業過程の確認

報告事項なし。

専門医認定部会（立野理事）

立野理事より、専門医試験は 2025 年 9 月後半の方向で検討している旨、説明がなされた。

修練施設部会（八尾理事）

八尾理事より、総合修練施設が数件増加する可能性があること、11 月半ばが申請締め切りである旨、説明がなされた。

・移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事）

三谷理事より、移行医療の提言のアップデート、脳卒中・心臓病総合支援センターの好事例収集の動きがある旨、情報共有された。辻田理事より、脳卒中・心臓病総合センターに関する熊本県の取り組みが紹介された。

・倫理委員会（宮崎理事）

報告事項なし。

・保険委員会（小野理事）【資料 2】

小野理事より、令和8年度診療報酬改定の一次提案に関して、12月4日が内保連への申請締め切りであり、成人移行支援連携指導料、先天性心疾患を有する女性への妊娠カウンセリング加算を申請予定であることが報告された。

・移植委員会（齋木理事）【資料3】

赤木理事長より、愛媛宣言を学会ホームページに掲載したこと、今後、学会誌への掲載予定である旨、説明がなされた。

・渉外委員会（笠原理事 赤木理事）

日本肝臓病学会、日本小児循環器学会との FALD 診療手引き【資料4,5,6】作成が進んでおり、通常の FALD と肝繊維化の進行した Advanced FALD の2種類の診断基準案が作成されていること、フォローアップ体制、発生予防に関する内容が含まれる旨、紹介された。

赤木理事長より、2025年に開催予定の国際学会として資料に基づき香港で開催予定の WCPCCS、釜山で開催予定の APSC について説明がなされた。Asia-Pacific Society for ACHD symposium は2025年開催をスキップし、次回は2026年にタイで開催予定である旨、説明がなされた。【資料7】

・広報交流委員会(山村理事)

報告事項なし。

・財務委員会(立野理事)【資料8】

立野理事より、2025年度業務委託契約について資料に基づき説明がなされた。国際文献社より、近年の物価高騰に伴い全体で15%値上げの提案があったこと、財務委員会で内容を精査し理事長・副理事長と相談のうえ、提案を承認する方針である旨、説明がなされ承認された。

・多職種専門職委員会(水野理事)

水野理事より、第25回日本成人先天性心疾患学会学術集会で実施する ACHD の多職種が参加する診療体制構築の課題に関するパネルディスカッションの非会員演者2名について学会から旅費支給可能か提案があり、承認された。

また、看護や心理学系の他学会の年会費を考慮し、現行の3千円から5千円に値上げについて提案され、継続審議となった。【資料9】

<関連委員会>

・日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会（山岸理事）

山岸理事より、成人先天性心疾患ガイドライン改定が進んでおり、現在外部評価を受けている旨、情報共有された。

・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)

八尾理事より、山梨大学の参加、多施設共同研究の進捗について報告がなされた。

報告事項4：

第26回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（大内理事）

赤木理事長より、プログラムの概要が確定している旨、報告された。

第 27 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（坂田理事）

報告事項なし。

審議事項

1. 日本心血管インターベンション治療学会による心房中隔欠損症、動脈管開存症のカテーテル閉鎖術に関する規約および適正使用指針案について（赤木理事）【資料 10-14】
赤木理事長より、標記の規約および適正使用指針案が日本心血管インターベンション治療学会で了解されたこと、成人先天性心疾患修練施設が実施施設基準に含まれることが情報共有された。

3. 次回理事会日程について

2024 年 12 月 19 日(木) 19:00 から

4. 閉会